

(件名) ウラジオストクの観光について
(1) ウラジオストクについて

ウラジオストクは、人口 60 万人程度の港町で成田空港や関西国際空港から定期直行便が就航し、2 時間ほどで行けることから「日本からいちばん近いヨーロッパ」というキャッチフレーズで近年観光地として注目を集めています。また 2018 年 12 月には新千歳空港からの直行便も就航し、北海道からのアクセスが容易になりました。

街並みが素敵なおもしろいですが、カジノなどの娯楽、美味しい食事、美術館やバレエなどの芸術鑑賞、市内を一望できる展望台など、観光地としての魅力もたくさんあります。

(2) ウラジオストクをはじめとする沿海地方を訪れる観光客数の推移について

沿海地方行政は 2025 年までに国内外からの旅行者数を 1,000 万人～1,200 万人まで増やすことを目標としており、電子簡易ビザの導入やウラジオストク近郊におけるカジノを含む複数の娯楽施設の建設、ルースキー島のリゾート開発など積極的な観光施策を展開しています。

このような観光施策の効果もあって、ウラジオストクをはじめとする沿海地方を訪れた外国人観光客数の過去 4 年間の推移を見ると大幅に増加しています。(表 1 参照) また、観光客数に関する最新のニュースによると、今年の 1～6 月の間に沿海地方を訪れた外国人観光客は 30 万人となり、昨年の同期間に比べて 25 パーセント増加しています。特に中国人と韓国人の観光客の増加が顕著です。

中国人観光客は団体での旅行が多く、買い物などを主な目的として大型観光バスを利用して観光をしています。

韓国人観光客は 2014 年に短期滞在の観光ビザが不要になったこともあり、ここ数年大幅に増加しています。週末になると、有名な通りや人気の飲食店は韓国人のグループでにぎわいを見せており、あたかも韓国にいるのではないかと錯覚してしまうほどです。

日本人観光客については、最近、若い女性のグループが自分たちでタクシーの配車や翻訳のアプリを利用して、観光を楽しんでいる姿を見ることがになりました。これは 2017 年 8 月から電子簡易ビザでの入国が可能になった効果が大きいと考えられ、2017 年と 2016 年を比較すると約 2.6 倍の増加となっています。さらに、今年の 1～6 月ではすでに前年の同期間の 2 倍以上となる 11,000 人となっており、中国や韓国に比べるとまだまだ少ないですが、着実に増加しています。

(3) 今後の取組について

先般、日本航空と全日空がそれぞれ成田ーウラジオストク線への来年からの直行便就航を発表しました。日本でもウラジオストクの人気上昇しています。北海道からも直行便が就航していますが、ウラジオストクのことには名前ぐらいしか知らないといった声を耳にします。北海道の方にとって当地の情報が不足していると感じているので、本レポートなどを通じたウラジオストクの情報発信をしていきます。

(表 1 : 沿海地方を訪れた外国人観光客の推移) (人)

年	全ての国	中国	韓国	日本	その他
2015	171,275	134,200	25,470	6,127	5,478
2016	248,367	190,867	43,426	4,977	9,097
2017	330,320	217,852	91,512	12,966	7,960
2018	471,821	227,041	217,745	15,336	11,699

(出所：沿海地方行政 HP の資料を基に当事務所作成)



(市内の港からの風景)